



今年4月に大阪府のがん拠点病院として認可されたから初めての開催となり、新たに迎えた腫瘍内科の中江史朗医師、呼吸器外科の板野秀樹医師から各診療科で取り

耳原総合病院 第21回地域連携をすすめる会

がん拠点病院となって初の開催 過去最高の参加者

9月30日、耳原総合病院主催「第21回地域連携をすすめる会」を開催しました。本会は外部の医療機関の皆様にお集まりいただき、当院との連携を深める



中江史朗医師

ために年に数回、開催しています。今回の参加者は、過去最高の26の医療機関51人、院内から67人合計118人でした。

また、今回から地域の医療機関の活動も話していただく場を設け、三谷ファミリークリニックの三谷和男院長、巽欣子副院長より、漢方医療の実践、地域に根差



板野秀樹医師

し、顔をの見える関係として、ますます地域連携の発展が展望できる会でした。

「パレエ、能などは封建時代に王様、貴族、階級的にコントロ

異文化コミュニケーションカンファレンス

『Democracy and the Arts ～民主主義と芸術～』



「地域交流ゾーン1周年記念シンポジウム」にて、マオリ族の伝統舞踊を上演



阪本洋三氏

◆日時 11月16日(木) 18:00～
◆講師 阪本洋三氏
近畿大学文芸学部教授 芸術学科舞台芸術専攻
◆場所 耳原総合病院地域交流ゾーン
みみはらホール

「ライフワークは民主主義と芸術の関係」とおっしゃる阪本洋三先生。地域交流ゾーン1周年記念シンポジウムではマオリ族の伝統舞踏を上演、参加者はみな釘づけになりました。あの熱気を再びこの秋、待望の講演会です。お気軽にご参加ください。

「大切なことは『想像力が共感を可能にする』ということ。アートを作るといことはヴィジョ

化され、言語も、文化もつばわれのがニュージールランド先住民の人々です。文字文化をもたなかつた彼らの先祖は、アイデンティティをはく奪されるとい歴史を子どもたちにパフォーミングアーツで伝えてきました」

理事会報告

9月度理事会（概要）

9月28日（木）午後6時から理事18名、監事3名の出席で2017年度・第1回理事会がホテルアゴラリージェンシー堺3階1階の間で開催されました。

理事長挨拶のあと、専務より会務報告、その他の友の会活動等の報告がされ出席理事全員が確認しました。また次期評議員の委嘱提案、新理事会の執行部体制の提案、理事会参与制度参与の選出が提案され、出席理事

全員の賛成にて承認されました
（主な内容）

- ①全日本民医連、大阪民医連、拡大常任理事会報告
- ②看護確保推進委員会報告
- ③健康友の会みみはら代表世話人会議報告
- ④8月度経営結果についての報告
- ⑤協議・確認事項

・次期評議員の委嘱についての提案
・新理事会の執行部体制の提案
・理事会参与制度、参与の選出の提案

新役員(理事)体制です (50音順)

理事

- 穴井 勉 (再任)
- 池田 信明 (再任)
- 磯田 実 (再任)
- 江戸 道子 (再任)
- 緒方 浩美 (再任)
- 奥村 伸二 (再任)
- 影山 浩 (再任)
- 亀田 孝則 (再任)
- 久原 紅 (再任)
- 河野 直明 (新任)
- 斉藤 和則 (再任)

- 田端 志郎 (再任)
- 當山 清二 (再任)
- 永井 信夫 (再任)
- 間 正幸 (再任)
- 橋本 祐介 (再任)
- 原 卓士 (再任)
- 前田 貢光 (再任)
- 松葉 和巳 (再任)
- 三木カオル (再任)
- 三谷 信雄 (再任)
- 向井あきら (新任)
- 森 高志 (再任)
- 森岡 徳子 (再任)

- 森島 嘉之 (再任)
 - 山口 正平 (再任)
 - 山道 崇之 (新任)
 - リム・ボン (再任)
 - 渡邊 孝晴 (再任)
- 合計 29名

監事

- 大邊 誠一 (再任)
 - 奥村 慶雄 (再任)
 - 田崎 貞雄 (再任)
- 合計 3名

新理事会執行部

- ◆理事長 齊藤 和則
- ◆副理事長 奥村 伸二
影山 浩
田端 志郎
森岡 徳子
- ◆専務理事 穴井 勉
- ◆副専務理事 前田 貢光
森 高志
渡邊 孝晴

*「地域交流ゾーン1周年記念シンポジウム」での発言から
(2017年5月27日開催)